

# 学びやの味に酔う

旧西三川小



## 地酒「学校蔵」お披露目

## 香りも豊か 3種を堪能

佐渡市西三川の閉校した旧西三川小学校校舎を再利用した酒蔵「学校蔵」で3日、地元住民らを招いた施設見学会が開かれた。学校蔵で製造した酒のお披露目を兼ねたイベントで、試飲した人たちは母校を懐かしみながら、かつての学びやから生まれた酒の味と香りを楽しんでいた。

学校蔵は校舎を借り受けた尾畑酒造(同市真野新町)が教室を改築し、醸造設備を設置。今春から酒造りを始めた。佐渡産の酒米・越淡麗を100%使用。純米酒に佐渡杉の木片を浸して香りを加えるなどし、3種類のリキュール酒に仕上げ、「学校蔵」と名付けた。

参加者は、校舎1階の理科室などを改装した酒造場に入り、同社の平島健社長から酒の製造過程や設備に関して説明を受けた。

この日から販売が始まった「学校蔵」の試飲も行われ、参加者は3種を飲み比べながら「香りがいい」

学校蔵で造られた酒を試飲する地元住民ら13日、佐渡市西三川

などと話し、それぞれの個性が光る味を堪能していた。

西三川小の卒業生で同市西三川の会社経営、林田広幸さん(55)は「海の眺めと夕日がきれいな学校で、きょう来て懐かしい気持ちになった。閉校と

なり寂しかったが、酒蔵として地域の人やさまざまな人が集まるにぎわいの場になってほしい」と語った。

同社の尾畑留美子専務は「やっとお酒ができたという気持ち。学校の児童一人一人に個性があるように、

同じコメで作っても、三つの個性があって面白い」と話していた。

「学校蔵」は3種類とも1・8割が3千円、720円(税別)が1500円(いずれも税別)。問い合わせは尾畑酒造、0259(55)3171。